

参考資料

【試算方法】

- 各施設形態について運営実績のある複数の民間事業者にヒアリング等を行い、実現可能性の高い運営費を算出。
- 競技団体やプロモーター等に利用ニーズを確認し、運営費に反映。

【試算条件】

- 近接地に東京アクアティクスセンターが整備。
- 運営費は東京都体育施設条例施行規則に基づく開場時間（9：00～21：00）をベースに算出。
- 収入単価は、プール案については東京辰巳国際水泳場と同額とし、アイスリンク案、アリーナ案については類似施設と同水準に設定。

区分		プール	アイスリンク	アリーナ
整備費用・運営費	初期費用 (改修費)	27.43億円 〔・老朽化対応 27.37億円 ・転用工事 0.03億円 ・関連備品等 0.03億円〕	43.67億円 〔・老朽化対応 26.05億円 ・転用工事 15.90億円 ・関連備品等 1.72億円〕	37.87億円 〔・老朽化対応 27.37億円 ・転用工事 8.60億円 ・関連備品等 1.90億円〕
	想定される運営費 (想定費用－想定収入)	5.83億円	1.90億円	2.73億円

(参考) 競技者の施設利用 の状況	・施設開館時間内(午前・午後・夜間)での練習利用が一般的	・昼間は一般利用主体のため、アスリートは早朝や深夜などの時間帯に練習し、両時間帯とも稼働率が高い ・都外の施設(長野県、神奈川県、山梨県)まで遠征し、練習	・施設開館時間内(午前・午後・夜間)での練習利用が一般的
-------------------------	------------------------------	--	------------------------------

主な都内国公立スポーツ施設の競技別対応一覧 (H28.10.1)

<近年整備された主な国公立スポーツ施設及び今後の予定>

※一部リニューアルオープン含む、(予定)は整備完了予定

東京2020大会競技 及び冬季室内競技 ※ () はパラ競技	施設種別	都内国公立施設数	整備状況
サッカー、ホッケー、ラグビー、(5人制サッカー)	球技場(屋外)	86	駒沢第一球技場 2017年7月
陸上競技、(パラ陸上競技)	陸上競技場	41	※駒沢硬式野球場 2019年6月 (改修工事完了予定)
野球・ソフトボール	野球場	244	大井ホッケー競技場 2019年6月(予定)
テニス、(車いすテニス)	テニスコート	253	※有明テニスの森 2019年7月(予定)
水泳、(パラ水泳)	プール	142	東京アクアティクスセンター 2020年2月(予定)
バドミントン、バスケットボール、ボクシング、フェンシング、体操、ハンドボール、近代五種、卓球、バレーボール、レスリング (バドミントン、ボッチャ、ゴールボール、シッティングバレーボール、卓球、車いすバスケットボール、車いすフェンシング、ウィルチアールグビー)	アリーナ	160	SUBARU総合スポーツセンター 2017年4月 駒沢屋内球技場 2017年7月 武蔵野の森総合スポーツプラザ 2017年11月 有明アリーナ 2019年12月(予定)
ウェイトリフティング、(パラパワーリフティング)	トレーニング場(ジム含む)	120	
柔道、空手、テコンドー、(柔道、テコンドー)	柔道・剣道・武道・相撲場	72	
アーチェリー、(アーチェリー)	弓道場・アーチェリー場	60	駒沢弓道場 2016年7月
ゴルフ	ゴルフ場	8	
スケートボード	ローラースケート場	10	
射撃、(パラ射撃)	射撃場	-	※エアライフル射撃場は 10か所有
フィギュアスケート、アイスホッケー、カーリング	アイスリンク	1	現在整備計画なし
スポーツクライミング	スポーツクライミング施設	3	
自転車競技、(自転車競技)	自転車競技場	-	
馬術、(馬術)	馬術競技施設	-	※民間(JRA)特殊法人運営による 馬事公苑もあり
ボート、セーリング、サーフィン、トライアスロン (ボート、トライアスロン)	水上競技施設等	-	海の森水上競技場 2019年5月(予定)
カヌー、(カヌー)	カヌー	-	カヌー・スローム会場 競技コース 2019年5月(予定) 管理棟 2019年12月(予定)
			夢の島アーチェリー会場 2019年3月(予定)

* 冬季の屋外競技スポーツは都内では実施困難であるため除く。 * 都内国公立施設数は「東京都における公立スポーツ施設平成28年度版(東京都オリンピック・パラリンピック準備局)」より引用

東京辰巳国際水泳場・東京アクアティクスセンター 比較概要

	東京辰巳国際水泳場	東京アクアティクスセンター
所在地	・東京都江東区辰巳二丁目8番10号	・東京都江東区辰巳二丁目2番1号
2020会場	・オリンピック：水球	・オリンピック：水泳（競泳、飛込、シンクロナイズドスイミング） ・パラリンピック：パラ水泳
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・延床面積 約22,319㎡ ・座席数 3,600席（仮設席含め最大5,000席） ・メインプール 50m×25m、10レーン ・サブプール 50m×15m、7レーン ・ダイビングプール 25m×25m ・その他：トレーニング室、レストラン 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・延床面積 約56,000㎡ ・座席数 約5,000席（大会後） ・メインプール 50m×25m、10レーン ・サブプール 50m×25m、10レーン ・ダイビングプール 25m×25m ・その他：トレーニング室、店舗スペース、<u>家族更衣室</u>、<u>飛び込み用トレーニングルーム</u>、<u>ギャラリー</u> 等
指定管理者	・オーエンス・セントラル・都水協・事業団グループ	・事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・537,833人 （専用利用：494,859人、個人利用：42,974人） ※平成29年度実績 	<ul style="list-style-type: none"> ・100万人見込（年間来場目標数） （専用利用：約85万人、個人利用：約15万人） ※新規恒久施設の施設運営計画（平成29年4月）より



（位置関係）



（東京アクアティクスセンター イメージ図）